

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 1 月 29 日作成)

小委員会名	環境振動測定分析小委員会	
主査名	小谷 朋央貴	
就任年月	2015 年 4 月	
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (環境振動運営委員会)	
委員長名	岩田利枝	
主査名	国松 直	
設置期間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>環境振動に関する測定手法について多くの測定事例を収集し、測定分析方法の体系化を目指す。その成果は広く会員に展開し、居住性の向上に寄与することが本小委員会設置の目的である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2015 年度 測定マニュアル検討WG 設置 (環境振動測定経験者へのアンケート結果の分析)、共同実験場所の決定など ・2016 年度 共同実験及び分析実施、測定分析マニュアル案作成 (WG) ・2017 年度 環境振動測定分析に関する公開研究会 ・2018 年度 (仮称) 測定分析資料作成 (HP 掲載)、3 年間のまとめ 	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：小谷朋央貴 (フジタ) 幹事：尻無濱昭三 (鉄建建設)</p> <p>委員：足立大 (リオン)、神谷俊行 (ベネック振動音響研究所)、佐野泰之 (愛知工業大学)、清水克将 (鉄道総合技術研究所)、田中彩 (鹿島建設)、富田隆太 (日本大学)、原田浩之 (三井住友建設)、平松和嗣 (NTT ファシリティーズ総合研究所)、平光厚雄 (国土技術政策総合研究所)、松田貫 (BL 建設)、藪下満 (YAB 建築・音響設計)、横島潤紀 (神奈川県)、森川和彦 (清水建設)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	測定分析資料作成 WG (2017 年 4 月～2019 年 3 月)：環境振動測定分析資料の作成を行う。	
2018 年度予算	32,000 円	<p>ホームページ公開の有無：</p> <p>委員会 HP アドレス：</p> <p>https://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/f-a00/fc00-12/fc10-12.html</p>

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<ol style="list-style-type: none"> 1. (仮称) 測定分析資料の HP へのアップ 2. 設計指針策定小委員会との合同 WG 3. 大会他への論文投稿
委員会活動の問題点 ・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・風による建物振動の分野を小委員会で取り扱うか。 <p>⇒専門家が委員にいない。地震と同じで長期観測の分野で、今までの小委員会範疇とは異なる。次期委員会で継続検討</p>

2018 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価 **最終年度評価**)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>1. 設計指針策定小委員会との合同 WG を実施した。</p> <p>2. 日本建築学会東北大会に 2 編投稿し発表した。</p> <p>3. 測定資料作成 WG において、資料案をまとめ、建築学会 HP にアップした。</p>			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。